

4. 超音波断層法によるヒト卵胞発育過程の観察とその臨床応用
(東京大) 木下勝之ほか
5. HMG投与時のホルモン動態について
(長崎大) 山辺徹ほか
6. 東京医科歯科大学における多胎妊娠の統計観察および新尿中 estrogen 定量法によるモニタリングについて
7. Gonadotropin療法における多胎妊娠と卵巣過剰刺激症候群の予知予防について
(大阪大) 倉智敬一ほか
8. 多胎児の発育成長に関する研究 歯科的検討その他
(日本大) 馬場一雄ほか

引き続き昭和56年度の研究方針の検討を行った。まず大阪大学からは各種排卵誘発剤による多胎妊娠率、流早産率、奇形発生率についての全国集計を行い、またHMG-HCG投与時の卵胞発育を血中 estrogen のRIAと超音波断層法によりモニターしたいとの方針が述べられた。続いて東京大学より多胎妊娠による早産未熟児の出生の予防法、卵胞発育の超音波によるモニター、単一排卵機序に関する基礎実験を行いたい旨の発言があった。

群馬大学は今年度提唱したHMG-HCG療法の新しいスケジュールの裏付けをするとともに、HMGの化学的精製を行ってよりFSH作用の強い製剤を作り多胎の防止を試みたいとの発言があった。和歌山医大からはラットをあらかじめ下垂体摘除してのちに、PMS-HCG排卵に及ぼすclomipheneの効果を確認したいとの意志が述べられた。

東京医歯大からはHMG-HCG療法のモニターとして尿中estrogenの簡易定量法を続けて行うとともに、卵巣過剰刺激症候群が起った際にLH-RH analogを投与して効果をみたいとの発言があった。長崎大からは高速液体クロマトグラフィーによるestrogenの簡易測定法の開発、卵巣過剰刺激症候群とprolactinの関係を調べ、bromocriptine投与、HMGの隔日投与法の試みなどを行いたい旨報告された。

続いて幹事校の東北大学より事務連絡に関する説明が行なわれ、散会した。

母体感染症分科会議事録

分科会長名：国立仙台病院臨床研究部 沼崎義夫

日時：昭和55年10月2日 13:00～15:00

場所：仙台市宮城野2丁目8-8

国立仙台病院 第1会議室

出席者：

- 吉野 亀三郎 (東大医科研ウイルス研究部) 班員
- 川名 尚 (東大医学部産婦人科) 研究協力者
- 千葉 峻三 (札幌医大小児科) 研究協力者代理
- 松本 慶蔵 (長崎大熱研内科) 班員
- 沼崎 義夫 (国立仙台病院臨床研究部) 会長・班員
- 亀井 喜世子 (帝京大医学部寄生虫) 研究協力者

議 事

1. 昭和55年度研究計画と中間報告
各分担研究担当者から、それぞれ研究計画と現在までの中間報告がなされた。
 2. 昭和55年度研究費の配分
研究費の配分が次のように決定された。
中央費 300,000円, 吉野班員 700,000円, 川名協力者 500,000円, 沼崎班員 600,000円,
中屋協力者 600,000円, 松本班員 700,000円, 亀井協力者 400,000円
 3. 昭和55年度事務処理について
研究班事務担当者高林氏（東北大学医学部産婦人科）より事務処理についての説明あり。
- 以 上

第 2 回 感 染 分 科 会 議 事 録

分科会長名：沼崎義夫（国立仙台病院臨床研究部）

日 時：昭和56年 3月 6日 10:00～13:00

場 所：東京都港区赤坂 6丁目 16-10

厚生省第二共済組合 藍荘会議室

出席者名：

吉 野 亀三郎（東大医科研）班員
川 名 尚（東大医学部産婦人科）研究協力者
千 葉 峻 三（札幌医大小児科）研究協力者代理
松 本 慶 三（長崎大熱研内科）班員
亀 井 喜代子（帝京大医学部寄生虫）研究協力者
沼 崎 義 夫（国立仙台病院臨床研究部）班員，分科会長
大 島 武 子（国立仙台病院ウイルスセンター）班員助手
小野寺 明 子（国立仙台病院臨床検査科）事務担当

議 事

1. 昭和55年度研究成果報告および討議
各班員および研究協力者からそれぞれ次のような報告があり活発な討議が行われた。
吉野亀三郎（班員）：ヘルペスウイルス 2型の特異抗体測定法の開発とそれを応用した年令別抗体保有状況の調査
川名尚（研究協力者）：性器ヘルペス妊婦の分娩と児の感染
沼崎義夫（班員）：サイトメガロウイルス感染の新しい血清診断法の開発と妊婦CMV感染，乳児CMV感染の解析
千葉峻三（研究協力者代理）：症候体先天性CMV感染症のリンパ球幼若化反応と交換輸血による新生児CMV感染症
松本慶蔵（班員）：トキソプラズマ抗体の検査法ダイテストと赤血球凝集反応の比較検討
亀井喜世子（研究協力者）：母体トキソプラズマ抗体の乳児における消長
2. 事務処理

研究報告書，会計報告書の作成について事務担当者から説明あり，疑問点について質議がなされた。
以 上